



## IDF PRESS RELEASE

Brussels, 3<sup>rd</sup> May 2017

### IDFプレスリリース

2017年5月3日、ブリュッセル発

## 国際酪農連盟の後援でSSAFEが全世界酪農管理食糧

### 安全システム研修の枠組み立ち上げを公表

国際酪農連盟（IDF）の後援を受けて、SSAFEは「全世界酪農管理食糧安全システム研修の枠組み」の立ち上げを公表した。

3年以上の検討期間を経て、この枠組みが世界中の小規模経営の酪農家が研修する際の支援となるように開発された。乳生産における適正食糧安全規範の概要を説明し、小規模な酪農家による良質な生乳生産を量的に拡大するとともに、家計収入の増大に必要な知識と技術が記載されている。

大半の乳が大企業ではなく、独立した家族形態の自営農場または小規模な農場主によって生産される中、酪農乳業は酪農家と地域社会の復元力と経済的な活力に貢献する。例えば、インドでは4500万頭の牛が小規模酪農家に所有される一方で、ニュージーランドでは500万頭の牛の大半が家族形態の自営農家に所有されている。同時に、酪農用家畜は、地域の家族においては主な資産ともなっている。4戸のうち1戸以上の農家では少なくとも1頭の乳生産用家畜を飼養している。

この枠組みは、中級レベルの条件が中規模の酪農家に向けられる一方で、小規模農家には、交渉の余地のない程重要な食品安全上の必要条件を含む基本的な条件を提供する。酪農生産における食品安全規範を改善するために段階的なアプローチの作成にも役立つ。また、個々の農家による「FAO/IDF適正酪農規範」の運用にも資する上、国際的な団体や民間事業者が地域の必要性や状況に基づく酪農研修計画を企画する際にも参考にもなる。

「このデーリー枠組みを共同で立ち上げたことをうれしく思います。数か国による実験的な試行の結果です。」と S S A F E 会長ニール・マーシャル氏 (Neil Marshall) は語った。「S S A F E から無料でダウンロードできるこのツールを提供することによって、この枠組みが、能力向上に向けた支援を目途に酪農乳業界の多くの方に利用されることを望んでいます。」

この新しい枠組みは、現行の国際スタンダード (規格)、実施規範およびコーデックス、I D F、I S O その他のガイダンスの上に構築されている。この枠組みの開発は、合意形成と諮問という厳格な手続きを経ている。この枠組みは、2015年に中身が目的に相応しているか、プログラムが新興国の小規模酪農家に付加価値を提供するかがパイロットレベルで試された。

「国際酪農連盟は、S S A F E が提案したオープンソースの研修の枠組みを検証し、世界中の地域の酪農家に対して、食品安全研修に資する道具としてこの文書の発行を後援しました。」と I D F 事務総長ニコ・ヴァン・ベルゼン氏は語った。

この[枠組み](#)は無料で入手でき、S S A F E のホームページまたは I D F のイントラネットからもダウンロードできる。酪農家の研修に大いに利用ください。

## S S A F E

S S A F E は、世界全体の食糧供給および食品の安全性を強化するためにパートナーと共に活動するグローバルな非営利団体である。S S A F E の特徴は公益団体と民間団体の共同活動に照準を当て、世界の食品サプライチェーンの統合性を高める努力をしている。この枠組みの開発は、グローバルなビジョンを達成するそのような活動の代表例である。詳細は [【こちら】](#) を参照ください。

同ホームページによると、S S A F E の会員には、カーギル、コカコーラ、ダノン、ジボーダン、ケログ、ケリー、キーストーン、マクドナルド、ネスレーが含まれる。共同活動のパートナーには、O I E、F A O、コーデックスが含まれる (JIDF 事務局注)。

翻訳：JIDF 事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。